

2025年9月期 決算の概要

2025年11月7日



DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

証券コード **7327**

※ 第四北越フィナンシャルグループを「第四北越FG」または「FG」と記載しております

2025年9月期 主なポイント



DAISHI HOKUETSU

Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

“飛躍のステージ”

第三次中期経営計画

(3rd Stage : 2024－2026年度)

2025年9月期



FG連結中間純利益228億円は、中間期として4年連続で最高益
(前年同期比+81億円)



2025.9.26 上方修正開示済

2026年3月期通期のFG連結当期純利益は360億円を見込む
(前年同期比+66億円)



2025.9.26 増配予想開示済

2026年3月期の1株当たり年間配当金は54円、前年比+10.33円
(株式分割後換算)

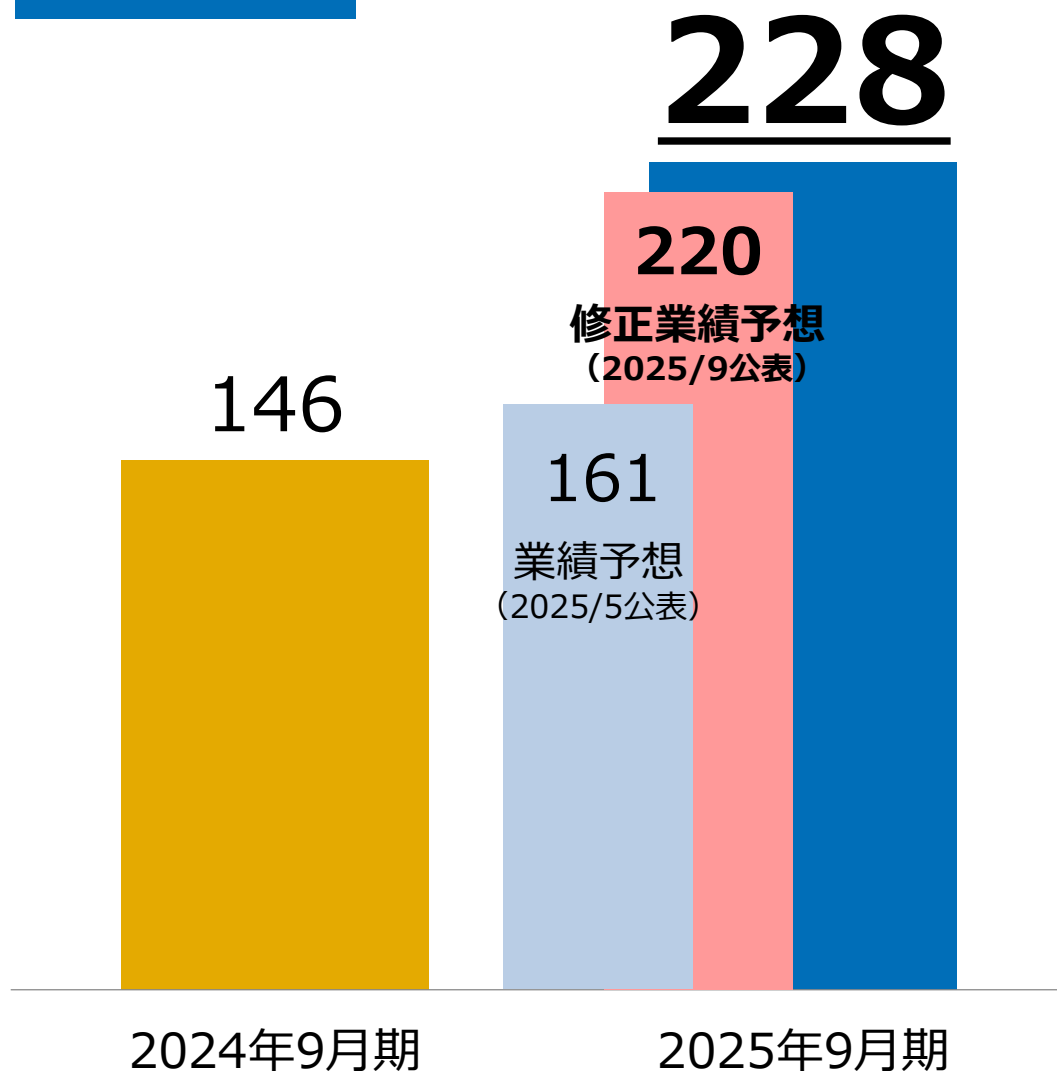
群馬銀行との経営統合



群馬銀行との経営統合に向けた協議は順調に進捗
シナジー効果の最大化に向け、10月から連携施策「プレアクション180」を開始

FG連結中間純利益

FG連結 (億円)

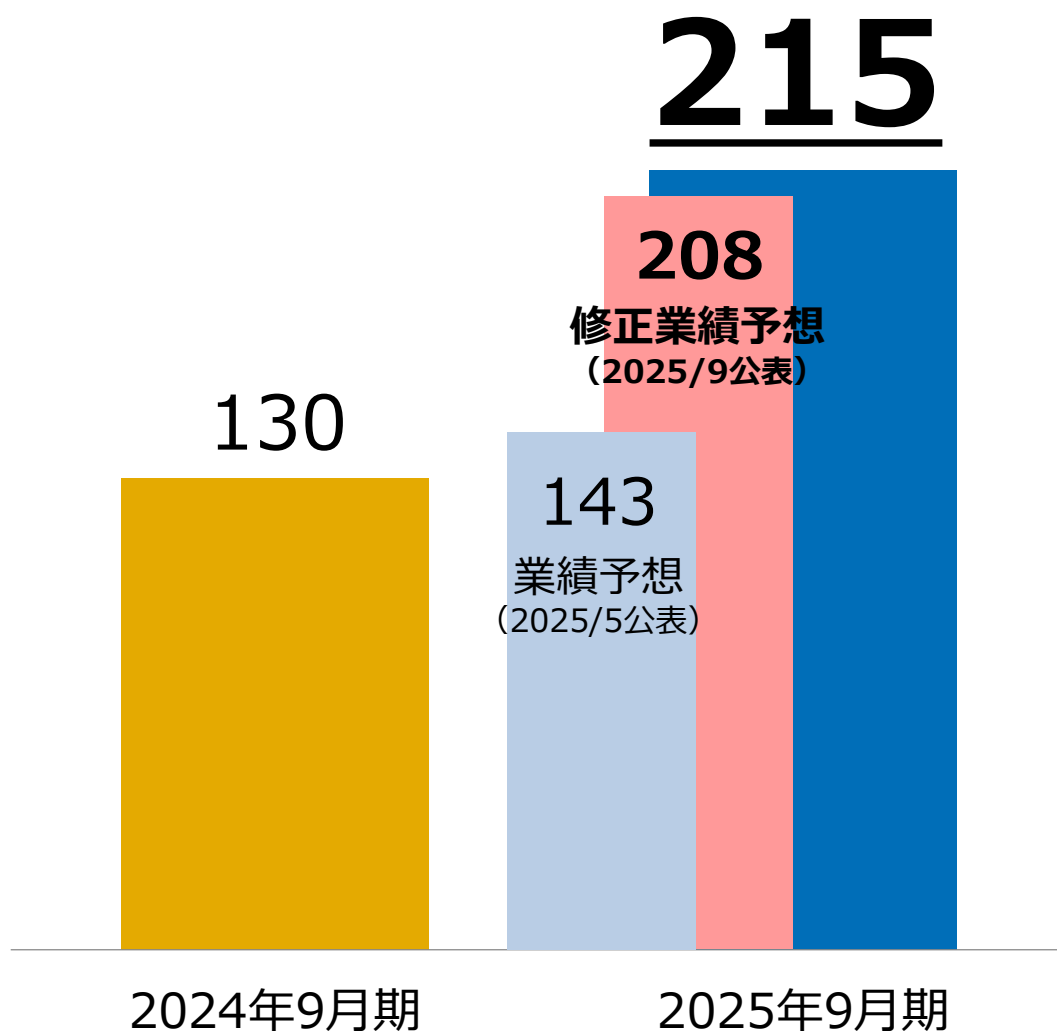


前年同期比

+ 81 億円
(+ 55.6%)当初業績
予想比**+ 67 億円**
(+ 41.6%)修正業績
予想比**+ 8 億円**
(+ 3.6%)

部門別 中間純利益の状況

銀行単体 (億円)



前年同期比

+ 85億円
(+ 65.1%)当初業績
予想比**+ 72億円**
(+ 50.8%)修正業績
予想比**+ 7億円**
(+ 3.7%)

部門別 中間純利益の状況

グループ会社部門 (億円)

※ 持株会社・銀行を除くグループ会社の
親会社株主に帰属する中間純利益の合計

16



2024年9月期

15



2025年9月期

前年同期比

▲0.9億円
(▲5.9%)

証券事業

前年同期比 + 0.3億円 (+ 3.9%)

- － マーケット動向を捉えたコンサルティングの
実践により増益

リース事業

前年同期比 + 0.6億円 (+ 16.4%)

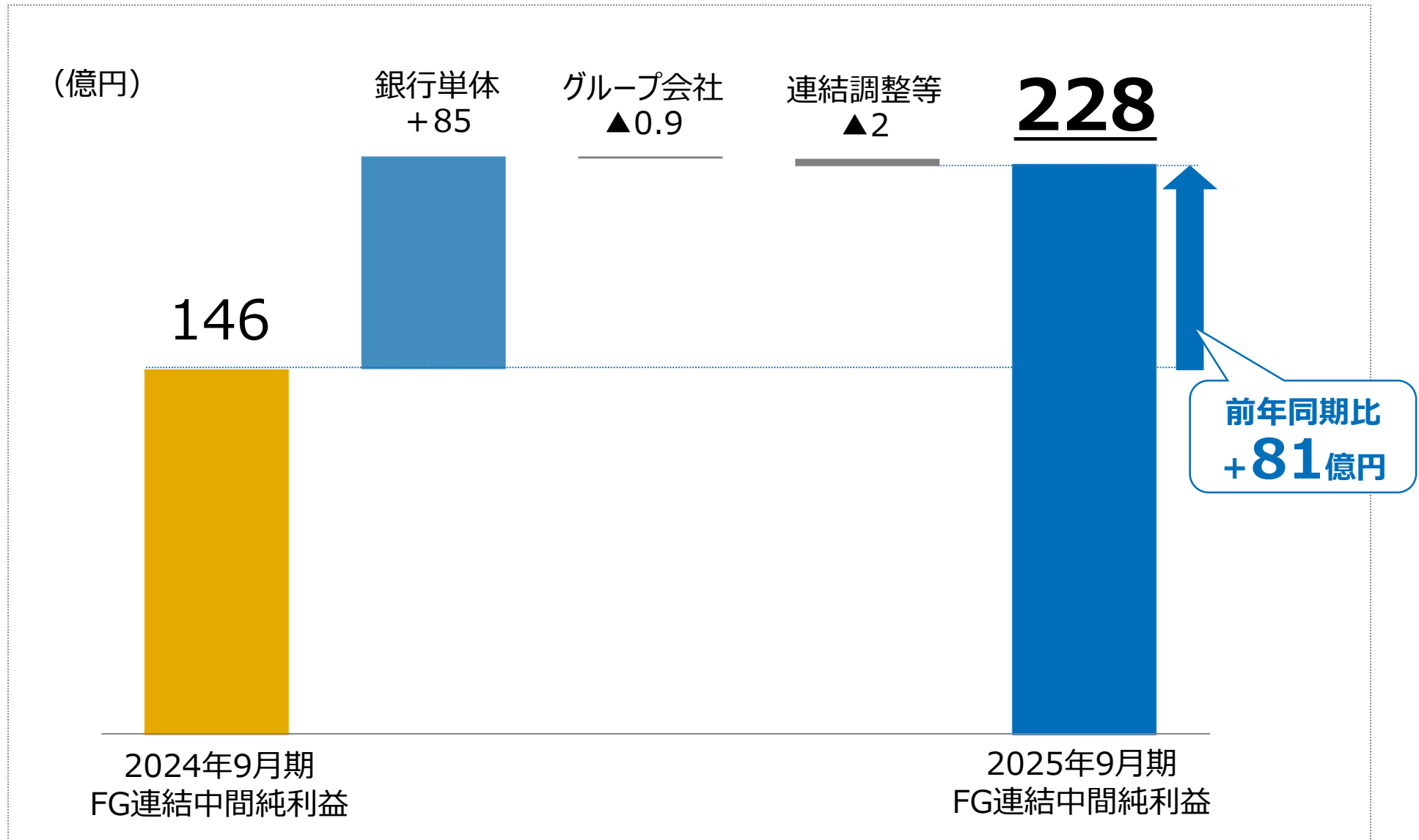
- － リース資産残高の伸長や信用コストの
減少などにより増益

信用保証事業

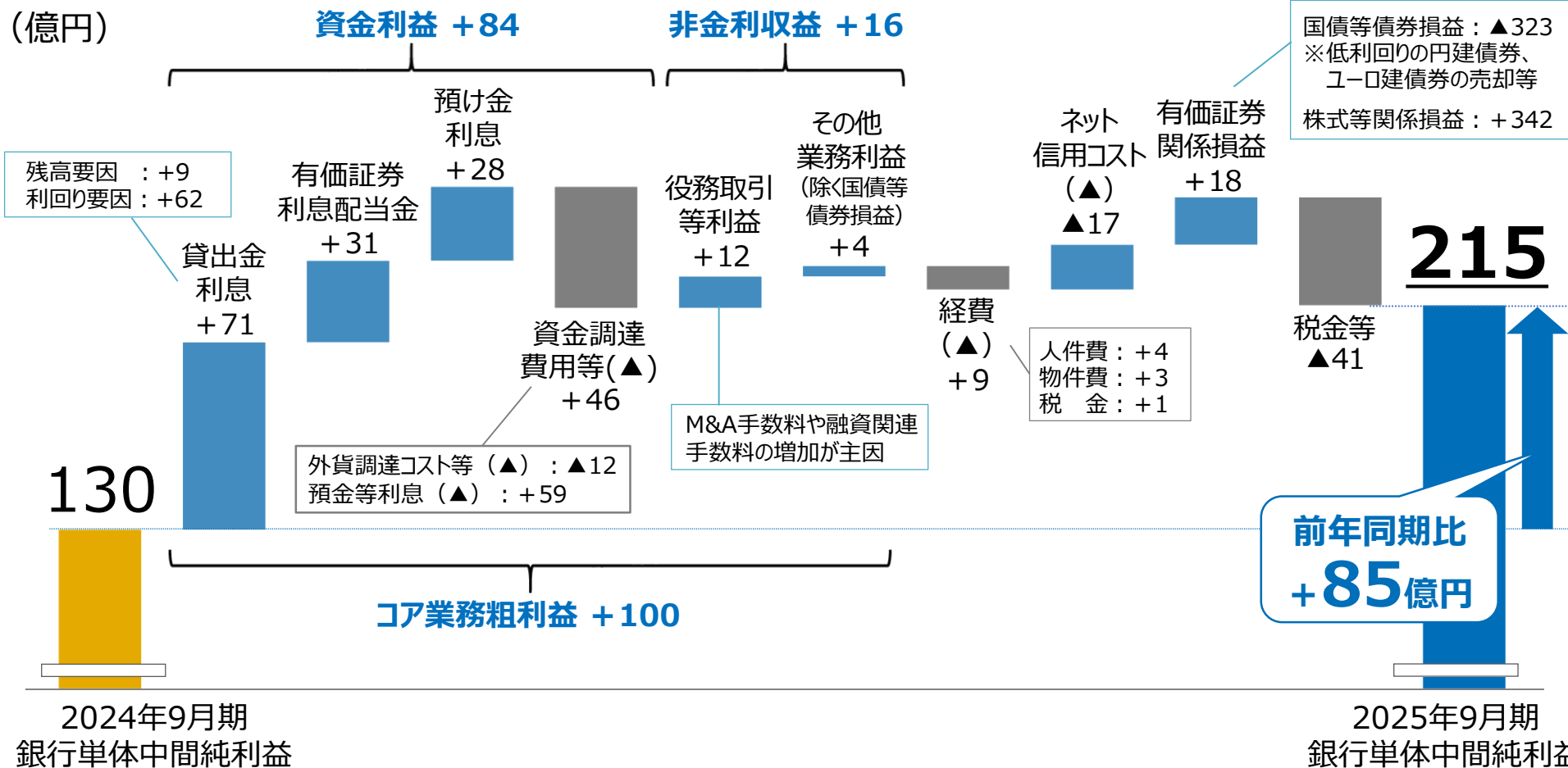
前年同期比 ▲2.0億円 (－)

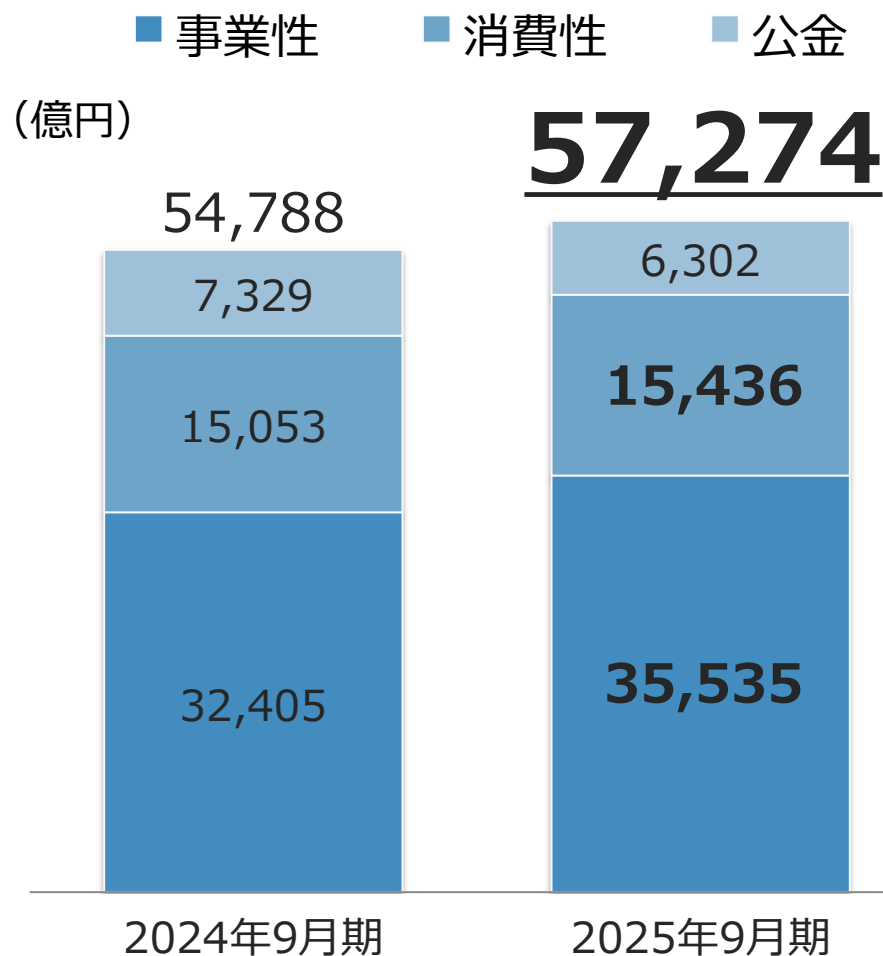
- － グループ間での手数料設計変更に伴う
影響などにより前年を下回る

FG連結 増減要因



資金利益が大幅に増加し 銀行単体の中間純利益は増益





前年同期比 + 2,486億円 (+4.5%)

消費性

前年同期比 + 383億円 (+2.5%)

– 非対面チャネルの活用や商品ラインアップの増強などにより住宅ローン・無担保ローンともに増加

事業性

前年同期比 + 3,130億円 (+9.6%)

– 県内： 同 + 11億円 (+0.0%)

– 県外： 同 + 3,118億円 (+20.1%)

県外は資金需要のある大企業向けなどが増加

(平残)

前年同期比 + 1,893億円 (+3.4%)

– 消費性貸出平残 同 + 309億円 (+2.0%)

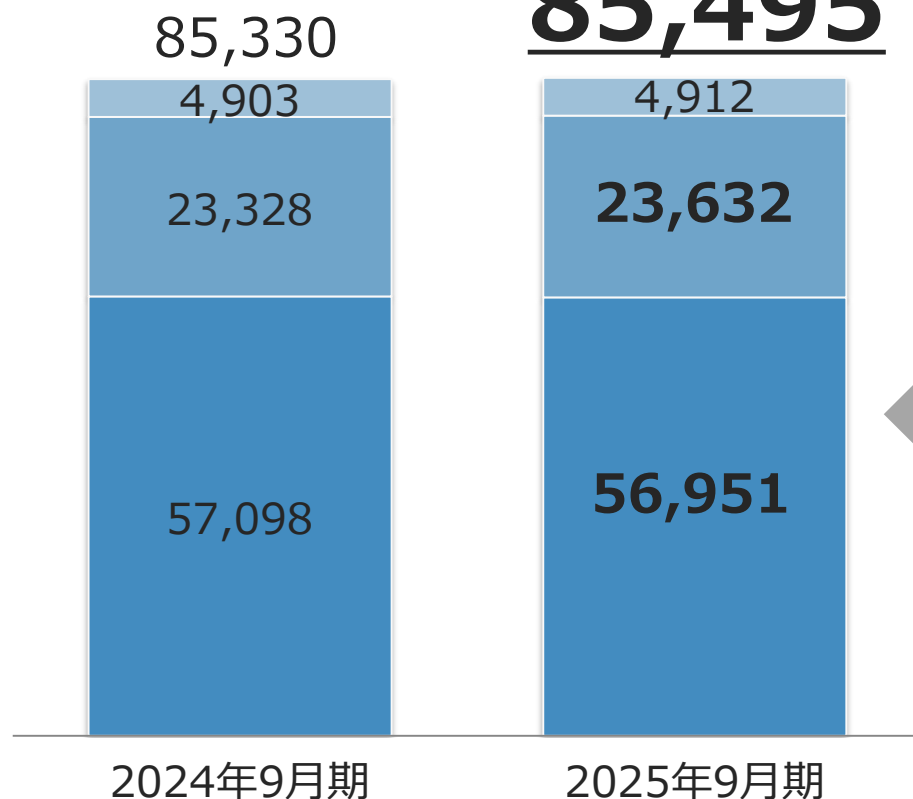
事業性貸出平残 同 + 2,544億円 (+8.0%)

貸出金
平残 54,550

56,443

■ 個人 ■ 法人 ■ その他

(億円)



前年同期比

+ 165億円
(+ 0.1%)

法人

前年同期比 + 304億円 (+ 1.3%)

個人

前年同期比 ▲ 147億円 (▲ 0.2%)

- 法人は順調に増加するものの、個人は預り資産へのシフトや物価上昇に伴う支出増加等を要因に減少

(平残)

前年同期比 + 179億円 (+ 0.2%)

- 法人預金等平残 同 + 65億円 (+ 0.2%)

個人預金等平残 同 ▲ 174億円 (▲ 0.3%)

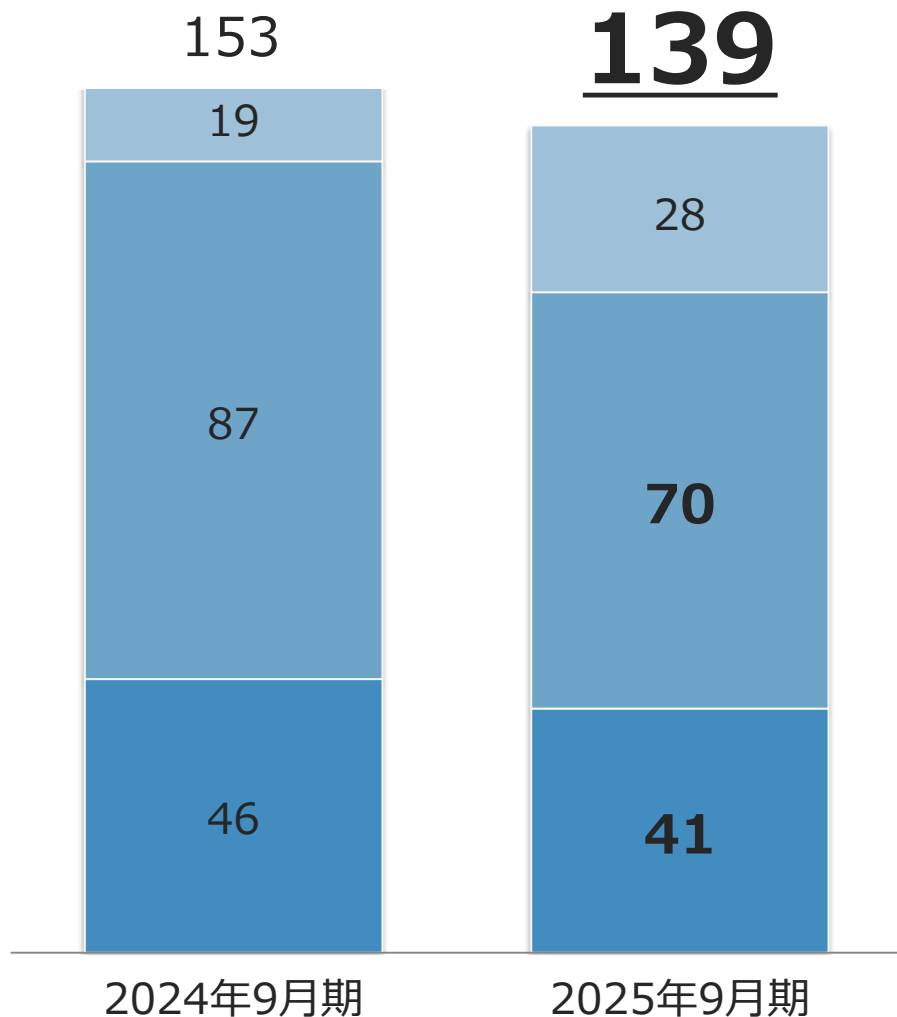
預金等
平残

86,644

86,824

■ 資産運用アドバイス ■ 金融ソリューション ■ その他

(億円)



前年同期比

▲13億円
(▲8.9%)

その他

前年同期比 + 8億円 (+46.5%)

- 手数料定率型住宅ローンの導入により手数料収益が増加

金融ソリューション収益

前年同期比 ▲17億円 (▲19.6%)

- M&Aの成約件数・収益額ともに過去最高を更新したものの、外為デリバティブ取引が減少

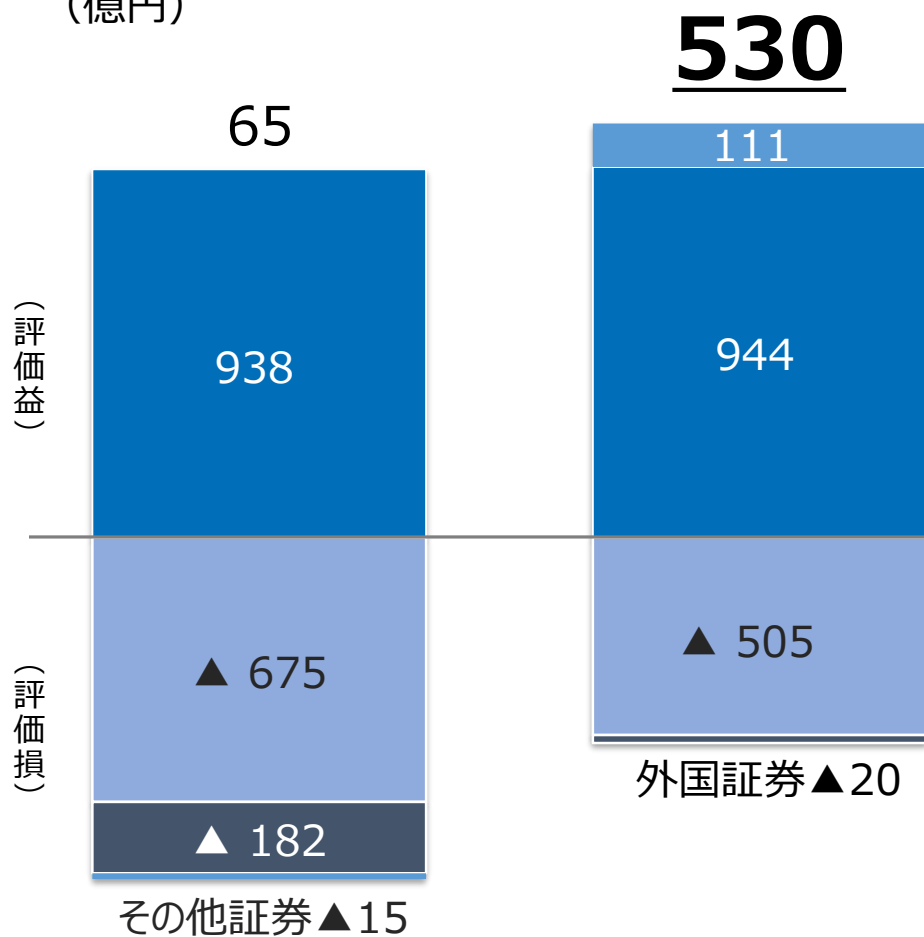
資産運用アドバイス収益

前年同期比 ▲5億円 (▲11.6%)

- 保険手数料体系の変更に伴う手数料収益の減少が主因

■ 国内債券 ■ 外国証券 ■ 株式 ■ その他証券

(億円)



有価証券評価損益

2025年3月期比 + 464億円

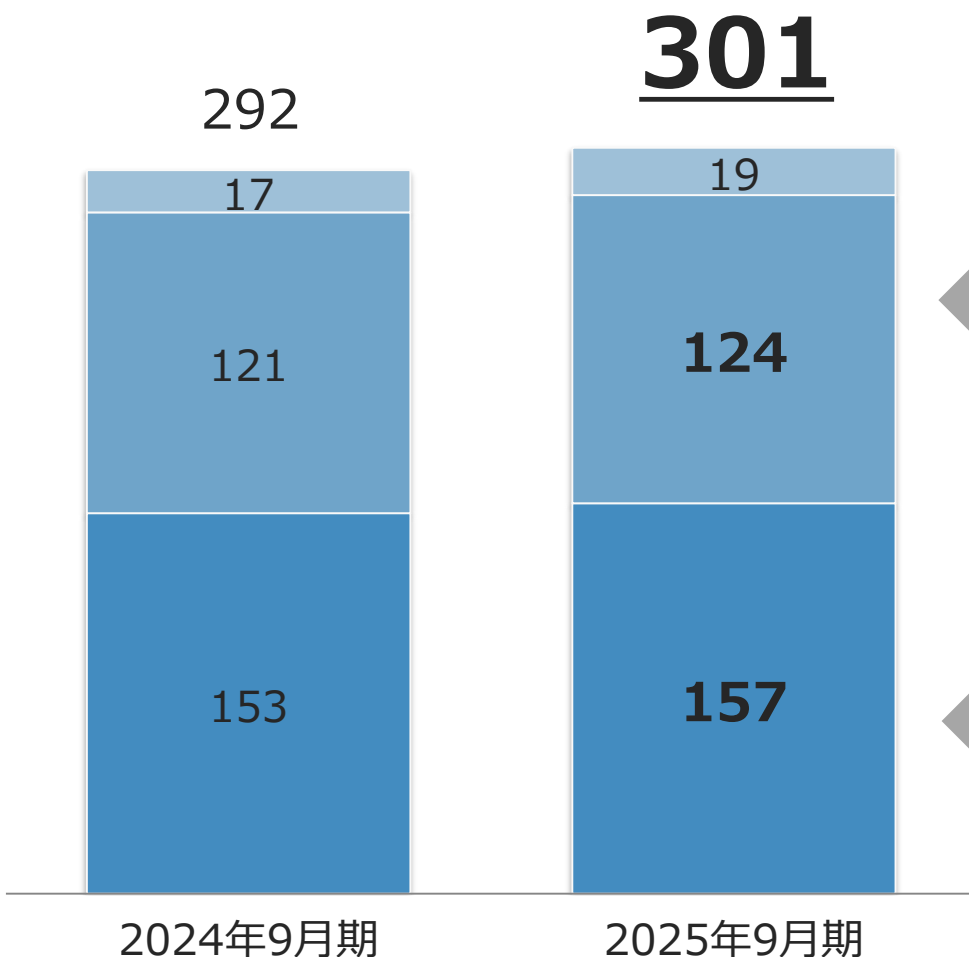
- － ポートフォリオ改善を目的に、低利回りの円建債券、ユーロ建債券の売却を実施したことにより、国内外債券の評価損が減少
- － 株価上昇により、その他証券に含まれる株式投信の評価益が増加

2025年3月期

2025年9月期

■ 人件費 ■ 物件費 ■ 税金

(億円)

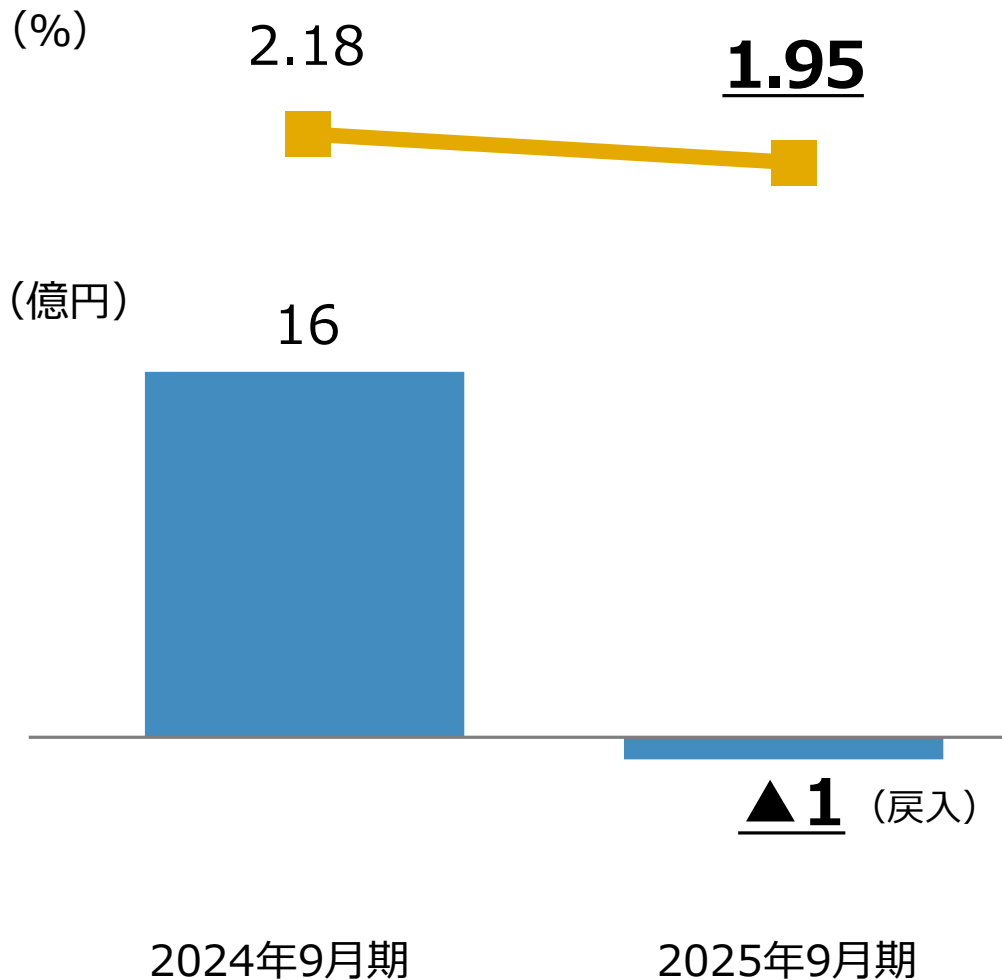
**前年同期比 +9億円
(+3.0%)****物件費****前年同期比 +3億円 (+2.4%)**

－積極的な戦略的投資などにより増加
(コンサルティング機能の強化、お客さまの
利便性向上に向けたデジタル化、職員の
能力開発に向けた研修費 等)

人件費**前年同期比 +4億円 (+2.9%)**

－賃上げを主因に増加

■ 不良債権比率 ■ ネット信用コスト



不良債権比率

前年同期比▲0.23pt

ネット信用コスト

前年同期比▲17億円

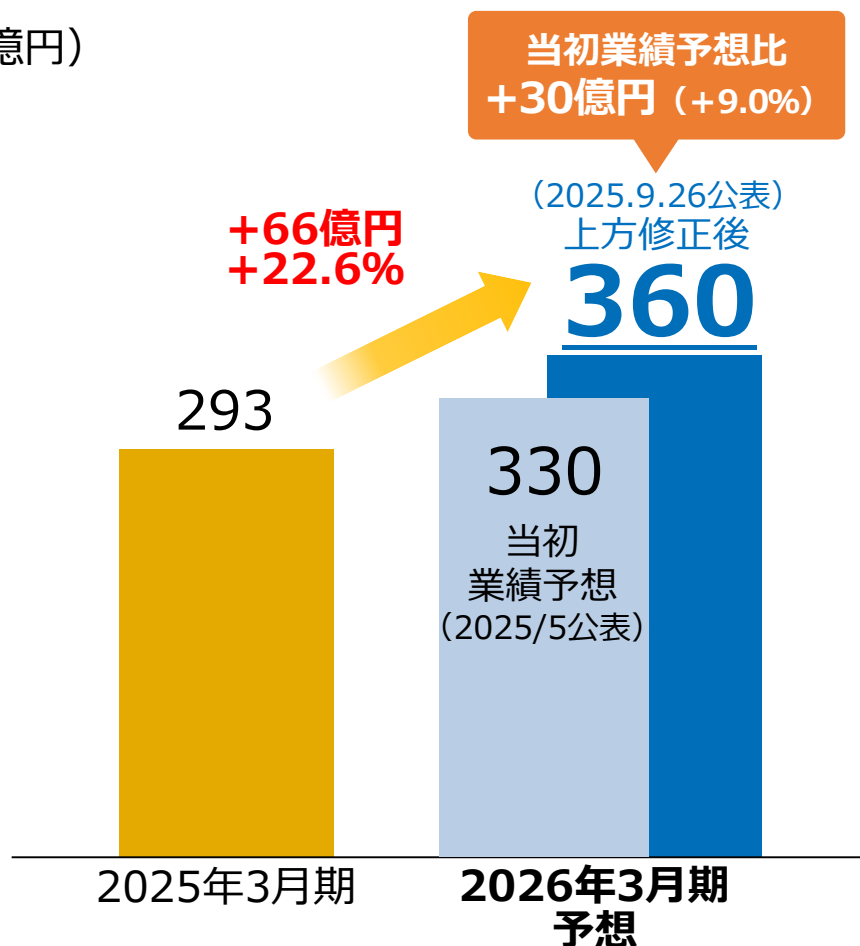
- － 貸倒実績率が低下したことや大口先の信用コスト発生が抑制されたことで貸倒引当金が全体で戻入となり信用コストは減少
- － 営業部門と審査部門が連携した伴走型でのきめ細かな資金繰りや経営改善・事業再生などのご支援に引き続き注力

2026年3月期 業績予想 (今後、必要に応じて修正していく方針) 2025.9.26公表済

県外事業性貸出が順調に増加し貸出金利息が堅調に推移しているほか、有価証券利息配当金もこれまでのポートフォリオの見直しを通じて増加するなど、資金利益が当初予想を上回る見込みであることから、2026年3月期（通期）の連結業績予想を上方修正

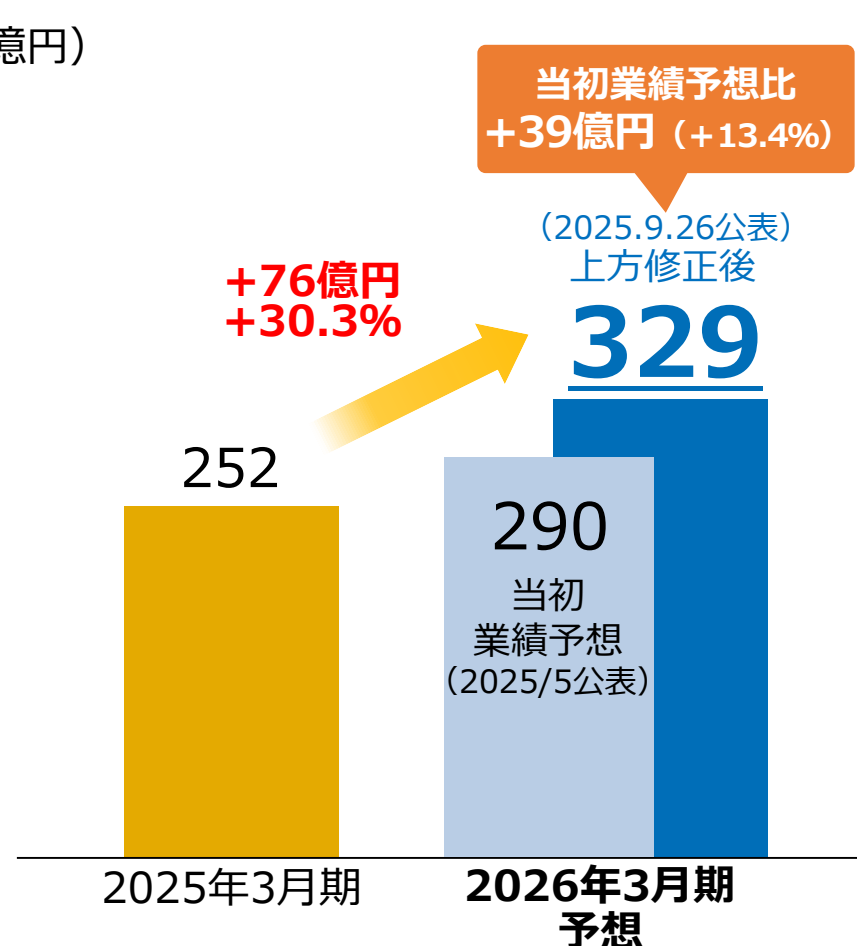
FG連結当期純利益

(億円)



銀行単体当期純利益

(億円)



2026年3月期 中間配当・期末配当予想

(1株当たり配当金)

	中間配当金		期末配当金 (予想) ※株式分割後	年間合計※3
	当初予想 (2025年5月公表)	【決定額】		
2026年3月期 (株式分割後換算※1)	75円00銭※2 (25円00銭)	81円00銭 ※2 (27円00銭)	27円00銭 (27円00銭)	— (54円00銭)
2025年3月期 (株式分割後換算※1)	56円00銭※2 (18円66銭)		75円00銭※2 (25円00銭)	— (43円66銭)

※1：2025年10月に実施した株式分割後の株式数を基準とします ※2：2025年10月に実施した株式分割前の株式数を基準とします

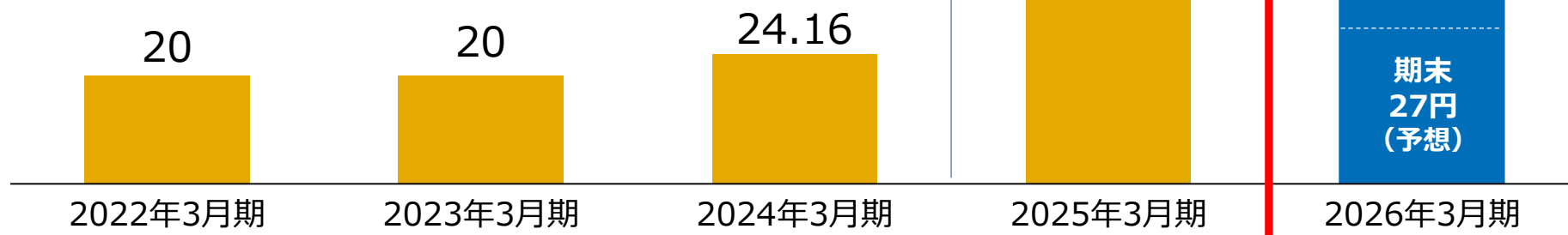
※3：年間合計につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため、上表において「—」と表示とし、株式分割後換算での配当金のみを表示しています

第二次中期経営計画

第三次中期経営計画

■ 1株当たり配当額（年額）（円）

※ 2024年10月、2025年10月に実施した株式分割を踏まえ、
過去に遡り株式分割後の配当額に換算





DAISHI HOKUETSU
Financial Group

第四北越フィナンシャルグループ

お問い合わせ先

第四北越フィナンシャルグループ

経営企画部

T E L 025-224-7111

E-mail g113001@dhbk.co.jp

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。